

DIA

水系1液反応硬化形ウレタン樹脂塗料

ダイヤ
パーマルウレタン

F★★★★★

環境にやさしく
水系最高水準のツヤを実現**耐候型** ウレタン樹脂の反応硬化により、強靭で耐候性に優れた塗膜を形成します。**弾性適用性**

弾性を有していますので、弾性塗材のトップコートにも適用可能です。

光沢

強靭な塗膜が良好な光沢を長期に保持し、建物の美観を保ちます。

低汚染型

反応硬化による緻密な塗膜が汚染物質の浸入を防ぎ、建物の美観を長期間保ちます。

ダイヤパーマルウレタン
他社水系ウレタン塗料**防カビ・防藻**

最先端のバイオ技術の導入により、藻やカビの発生を抑えるだけでなく、人や環境に対しても安全性の高い塗料です。

安全性

ローラー作業性、下地の隠蔽性に優れ、施工しやすく、きれいに仕上がります。また水系1液で、現場周辺に溶剤臭を撒き散らさず、安心して施工ができます。

用途可とう形改修用仕上塗材の上塗材(吹付タイル、リシン、スタッコ塗膜面等の改裝)
複層仕上塗材の上塗材、各種ボードの上塗材**包装単位**

ダイヤパーマルウレタン	16kg缶
ダイヤワイドシーラー	15kg缶
ダイヤアクレスエポ	16kg缶
ダイヤアクレスフィラー	16kg缶

色相標準色 45色(色見本帳ご参照下さい)
別途、指定色の調色も承ります。

標準施工工程

工 程	材 料 名	調合割合	所 要 量	塗回数	間隔時間		施工用具
					工程内	工程間	
●コンクリート、各種ボードのトップコート							
下地調整	ゴミ、油等の付着物は除去し、含水率10%以下(pH10以下)に管理して下さい。						
1 素地押さえ	ダイヤワイドシーラー 無希釈	15kg	0.10~0.2 kg/m ² 75~150m ² /缶	1	—	2時間以上	刷毛、中毛ローラー ^{エアレス}
2 上塗り	ダイヤパーマルウレタン 清水 刷毛・ローラー ^{エアレス}	16kg 0.5~1.5kg 1.0~2.0kg	0.2~0.3kg/m ² 53~80m ² /缶 0.3~0.35kg/m ² 46~53m ² /缶	2	2時間以上	—	刷毛、中毛ローラー ^{エアレス}

●複層塗材の上塗材 JIS仕様(例)

下地調整	ゴミ、油等の付着物は除去し、含水率10%以下(pH10以下)に管理して下さい。						
1 素地押さえ	ダイヤワイドシーラー 無希釈	15kg	0.10~0.15kg/m ² 100~150m ² /缶	1	—	2時間以上	刷毛、中毛ローラー ^{エアレス}
2 主材吹き	ダイヤエボンE(1液型)	20kg 0~0.4kg	1.3~1.5 kg/m ² 13~15 m ² /缶	1	—	24時間以上	タイルガン
3 凸部処理	主材吹き後、20分以内に硬質プラスチックローラーに塗料用シンナーをつけながら軽く押える。(押さえ模様の場合のみ行います)						
4 上塗り	ダイヤパーマルウレタン 清水 刷毛・ローラー ^{エアレス}	16kg 0.5~1.5kg 1.0~2.0kg	0.25~0.30kg/m ² 53~64m ² /缶 0.3~0.35kg/m ² 46~53m ² /缶	2	2時間以上	—	刷毛、ローラー ^{エアレス}

※下塗はダイヤワイドシーラー、ダイヤワイドシーラーホワイト及びダイヤプライマーを用いることも出来ます。

※下地の吸い込みが著しい場合は、2回塗りして下さい。※ダイヤダンセイREの上塗りとしてのご使用はできませんのでご注意下さい。

●改裝仕様～旧塗膜の塗替え① JIS仕様(例)

下地調整	ゴミ、油等の付着物は除去し、含水率10%以下(pH10以下)に管理して下さい。						
1 下地処理	ダイヤアクレスフィラー 清 水 { 中毛ローラー ^{エアレス} 多孔質ローラー ^{エアレス}	16kg 1.0~1.3kg 0.5~0.8kg 1.6~2.0kg	0.3~0.5kg/m ² 0.8~1.0kg/m ² 0.6~0.8kg/m ²	1	—	16時間以上	中毛ローラー ^{多孔質ローラー^{エアレス}}
2 上塗り	ダイヤパーマルウレタン 清 水 刷毛・ローラー ^{エアレス}	16kg 0.5~1.5kg 1.0~2.0kg	0.25~0.3 kg/m ² 53~64m ² /缶 0.3~0.35kg/m ² 46~53m ² /缶	2	2時間以上	—	刷毛、ローラー ^{エアレス}

※ 間隔時間は、標準状態(温度23°C、湿度50%RH)での時間を示します。

※ スタッコ面では、ダイヤアクレスフィラーの所要量は、0.4~0.5kg/m²(32~40m²/缶)となります。

ダイヤパーマルウレタンの所要量は、0.4~0.55kg/m²(32~40m²/缶)となります。

●改裝仕様～旧塗膜の塗替え ②

下地調整	ゴミ、油等の付着物は除去し、含水率10%以下(pH10以下)に管理して下さい。						
1 下地処理	ダイヤアクレスエボ 清 水 { 中毛ローラー ^{エアレス} 多孔質ローラー ^{エアレス}	16kg 0.8~1.6kg 0.4~0.8kg 0.8~1.6kg	0.3~0.5kg/m ² 0.8~1.0kg/m ² 0.6~0.8kg/m ²	1	—	16時間以上	中毛ローラー ^{多孔質ローラー^{エアレス}}
2 上塗り	ダイヤパーマルウレタン 清 水 刷毛・ローラー ^{エアレス}	16kg 0.5~1.5kg 1.0~2.0kg	0.25~0.35kg/m ² 46~64m ² /缶 0.3~0.35kg/m ² 46~53m ² /缶	2	2時間以上	—	刷毛、ローラー ^{エアレス}

施工・保管上の注意点

1. はけ塗り仕上げとローラー仕上げが混在する場合、塗付量、表面肌が異なり、色相差がでますので、施工方法により希釈量を調整してください。
2. 汚れ、傷などにより補修塗りが必要な場合がありますので、使用塗料の控えは、必ず取っておき、同一塗料、同一塗装方法で補修塗装してください。
3. セメント質下地は、表面の含水率が10%以下(pH10以下)になるまで放置して下さい。下地モルタルは十分に乾燥させて下さい。モルタルの乾燥期間は夏期で1週間、冬期で2週間以上必要です。コンクリート下地は夏期で2週間、冬期3週間以上乾燥が必要です。
4. 材料が付着焼付しまさむので、塗料表面周辺の養生を完全に行い、施工時建物の周辺に飛散しないようにして下さい。養生テープは塗膜厚を考慮して、強度の高いものを使用して下さい。また、吹付け後は、速やかに養生紙や養生テープを取り除き溝掃して下さい。乾燥後、養生テープを取り除く場合はカッターを入れて下さい。そのまま取り除きますと紙が残りります。
5. コンプレッサーは必要十分な能力以上のものをご使用下さい。
6. 下地は十分に乾燥してから施工して下さい。乾燥不良の場合は、色ムラ、剥離等の生じる原因となります。
7. 施工にあたっては、同一方法で、入り隅、出隅等見切りの良いところまで仕上げて下さい。同一箇所途中での塗り継ぎは色違いやムラの原因になります。
8. 気温5°C以下、湿度85%以上または降雨、降雪、強風の場合は施工を避けて下さい。また作業後に、降雨、降雪の恐れがある時は雨(雪)養生をして下さい。なお、夜間の気温が氷点下になる恐れがある場合は、午後3時頃までに作業を打ち切るようにして下さい。
9. 施工後24時間以内に降雨、結露等の影響で白化や色ムラが発生し、駆面に残る場合があります。
10. 本施工に入る前に試験塗りを行い、施工のタイミング、粘度、塗布量などをチェックし、仕上がりがムラにならないよう確認して下さい。
11. 清水で希釈する場合、希釈量を厳守して下さい。薄め過ぎるときれいに仕上らないことがあります。特に濃色や下地の吸い込みがない場合は等は少なめに希釈して下さい。
12. 下地の吸い込みにより色彩のムラが発生する場合があります。
13. 濃色や原色に近い色の場合強くすると色が取れる場合があります。
14. 常に結露が発生する地域・時期での施工は避けて下さい。
15. 工程間隔時間は十分取って下さい。
16. 安全衛生上の注意事項については、容器の表示も合わせてご参照下さい。
17. 材料の保管は気温5~35°Cで、密封のまま直射日光を避け、屋内に貯蔵して下さい。長時間貯蔵したものは十分攪拌し、変質の有無を確認して下さい。
18. シーリング材の上に施工することは避けて下さい。汚染、ひび割れ、剥離などの不具合が発生するおそれがあります。必要上塗する場合は、シーリング材との塗り重ね適合性を充分確認のうえ施工して下さい。
19. 塗装下地の差によって、塗布量が変わるものがあります。
20. 安全衛生上の詳細な注意点については安全データシート(SDS)をご確認下さい。
21. 施工・管理上の詳細な注意点について仕様書等をご確認下さい。



取扱店

〒163-0825 東京都新宿区西新宿2-4-1 新宿NSビル

☎ (03) 5322-7020 FAX. (03) 5322-7021

URL <http://www.dia-dyflex.jp>

※ 全国の最寄りの支店・営業所をご案内致します。お気軽にお問い合わせ下さい。